

先進地を視察

7/15～16 豊後大野市
行財政改革特別委員会

本 委員会は、去る7月15日から16日の日程で、議会基本条例の制定および議会の活性化並びに議会報告会の取り組み状況など、議会改革を先進的に行っている熊本^み県御船^{ふね}町議会と佐賀^{うれし}県嬉野市議^の会を視察しました。

熊 本県御船町議会は、平成21年3月定例会で、議会基本条例制定特別委員会を設置し、翌年の平成22年3月定例会で、議会基本条例を制定しました。

条例制定までの1年間に、アンケートやシンポジウムさらには町民との意見交換会「あおぞら会議」などを開催し、町民の意見を反映させた議会基本条例を制定しています。

佐 賀県嬉野市議会は、平成21年7月1日より議会基本条例を施行し、議会としての責務を果たし、市民の負託に応え得る議会改革に、取り組んでいます。

ある情報誌が独自に評価し順位を付けた「議会改革度ランキング」では全国9位に入るなど、議会改革が進んでいる先進的な議会です。

今 回の研修で学んだ内容を検証し、今後の委員会活動に役立ててまいります。

視察研修で来庁

5/14 熊本^{こうし}県合志市
議会広報調査特別委員会

熊 本県合志市議会の議会広報調査特別委員会の委員5名の皆さんが、本市に議会だよりの行政視察を目的に来られました。

合志市は、平成18年2月27日に西合志町と合志町の2町が合併して誕生した市であり、熊本空港や九州縦貫自動車道からの利便性もよく、熊本都市圏の生活拠点を形成しています。

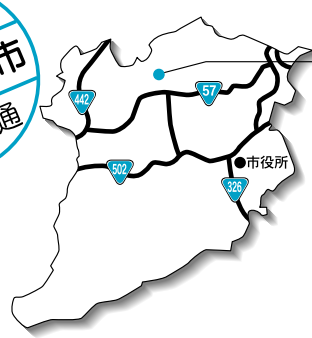
意 見交換では、編集方法や紙面内の空白の使い方、写真の配置、どのようにしたら市民の皆さんに読んでもらえるかなど、2時間にわたり、相互に意見を交わしました。

合志市議会の広報委員の方から本市の議会だよりは、『空白の使い方が非常に^{うま}上手く、読みやすい。』と大変ありがたいお言葉をいただきました。

今 後も、読みやすく分かりやすい『議会だより』発行を目指してまいります。



特集
豊後大野市
議会交通



— 大野町藤北 —

ふるさと

ふるさと紹介シリーズも2巡目となり、今回は大野町藤北地区を訪ねました。

本庁から国道57号を経て、大野町田中より県道三重野津原線を大分市野津原方面に約2キロメートル行つたところに、勝光寺、常忠寺があります。いずれのお寺も、鎌倉時代初期より

400年間、豊後をはじめ九州六力国を治めた大友氏ゆかりのお寺です。今回は、同所藤北の豊田康一さん、岡村哲也さんに両寺の由緒の詳細を伺いました。



岡村哲也さん



常忠寺の花ショウブ祭り

ふるさとを訪ねて

— 大野町藤北 —

勝

光寺は、大友2代親秀が初代大友能直の菩提寺として建立し、常忠寺は、その墓所として地域で長く守り伝えられて来ました。

大友能直亡き後、奥方の風早深妙禅尼は一時、豊後の国ここ藤北の泊寺に寄留し、菩提寺の建立、大友一族の団結力を高めるなど重要な役割を果たし、豊後大友氏の基礎を築きました。

勝光寺の本尊は不動明王です。裏に回って床下より自分の頭を歳の数だけ堂下に触れると、頭痛など頭の病が



勝光寺



豊田康一さん

治ると信じられています。毎年、旧暦1月28日の大祭では、家内安全、無病息災などの添護摩祈願を行っています。

常

忠寺は、大友氏に仕えた戸次氏の菩提寺でもありました。豊州三老の一人として名高い戸次鑑連(後に、戸次道雪↓立花道雪と名をかえる)は、ここ

藤北に生まれ、後に大友宗麟の命により、福



常忠寺

岡の立花城の城督として入封した全戦不敗の戦国武将です。現在でも柳川立花家では、柳川立花の祖と尊敬しています。

近

年、歴史に関心を持つ人が多く、ルーツ探して若い人も訪れます。歴史を通じた交流も生まれています。閑寂なたたずまいにふさわしく、梅雨時には水田に色とりどりの花ショウブが咲き誇っています。

市内には多くの史跡があるが、どこも保存維持の大切さや、難しさを抱えていることを感じさせられた今回の取材でした。